

## 世田谷区立京西小学校で体験授業を行いました

－アイマスクをつけて目の見えない世界を体験してみよう！ブラインドサッカーのボールを蹴ってみよう！－

スフィーダ世田谷 FC 2022 年 9 月 27 日

9 月 27 日(火)世田谷区立京西小学校にて、5 年生の 3 クラスに体験授業を行いました。

はじめにアイマスクをつけて1分間静かに見えない世界を体験してもらい、どのような気づきがあったか話してもらいました。「送風機の音が大きく聞こえた」、「校庭で遊んでいる子どもの話声が聞こえた」、「足音が移動することで人がどこにいるのかわかった」など、いつもと違う世界を体験しました。

次にスフィーダ世田谷 BFC の小岩井亜樹選手が、普段は何を手掛かりにして移動しているのかの見本を見てもらい、実際にアイマスクをつけて歩いてみました。手をたたいて音を出してみよう、名前を呼んでみよう、右・左・角度を伝えてみよう、など子どもたちが自分たちで工夫して目標までたどり着ける方法を考えました。

さあ、いよいよボールを蹴ってみよう！（蹴るのが苦手な子は、手で転がしても OK）1 回目はうまくまっすぐに蹴れない子が多かったのですが、何回か続けると、先ずボールの場所をしっかり確認、次に手を前に出して“この方向であってる？”と蹴る方向を仲間に確認、まっすぐ進むようにゆっくり蹴る、など工夫をして、しっかり蹴れるようになりました。最後のトンネルゲームはとても盛り上がりました。

授業の終わりには、子どもたちが小岩井亜樹選手の近くに集まってきて、“ありがとうございました！”“楽しかったー”とあいさつしてくれました。子どもたちの笑顔に囲まれた 1 日を過ごすことができ、スタッフも元気をもらいました。

体験授業を企画していただいた、京西小学校の先生方に感謝申し上げます。

スフィーダ世田谷 FC は、地域の子どもたちに様々な体験をしてもらうための活動を行っています。



報告:加藤富美江